

## 令和元年8月度自主防災会議議事録

日時 令和元年8月10日(土)  
AM14:00～PM16:15  
場所 管理センター東棟会議室  
出席者 藤田会長、吉橋相談役、小櫻救護給食統括、長谷川情報担当、村越民生委員  
青木管財・防火担当 議事録作成青木

### 議題

- (1) 防災マップ進捗状況の報告
- (2) 地区(夏季)防災訓練の実施状況報告
- (3) 令和元年度函南町防災補助金事業の進捗状況の報告
- (4) 9/1の「三島市・函南町総合防災訓練」へのダイヤモンドからの参加者についての報告
- (5) 【メイン議題】「発災時の自主防災会本部委員の対応マニュアル」の検討  
について報告及び検討を行なった。内容は以下の通り

#### (1) 防災マップの進行状況の報告

情報担当により、A0判地図にゴミステーション29箇所を記入、ゼンリンに手渡した。  
ゼンリンから提供を受けた、A0版地図は見にくい為、ゼンリンのシート地図をA0版に拡大し  
使用出来ないか検討を依頼中。版下を確認した後、発注する予定。  
最終納期は、11月の総合防災訓練に間に合うように希望している。

#### (2) 地区防災訓練の実施状況の報告

添付資料①「2019年度地区(夏季)防災訓練計画概要」の赤字表示の6地区(1、2、4、5、8、9  
地区)が終了した。

今までに下記の報告を受けた。

2地区 救急箱に「蟻が入り込み使用不能状態」である。

医薬品関係はプラスチック衣装ケースに収納するようにしているが、外置きの状態か？  
救急箱を交換する方向で検討する。

5地区 発電機起動不良。

8/2に吉橋相談役、青木 管財担当で確認したが良好に起動した。

9地区 プラスチック衣装ケース 2個、安否確認旗5本の依頼があった。

7/22に青木管財担当が上記全て納入した。

#48消火栓のバルブがしっかり閉まらない。他地区の不良と合わせ調査する予定。

#48消火栓のホース4本を5本にしてほしい。今年9月追加する予定。

10地区 防災訓練は8/25の予定で訓練は実施していないが、毎月の点検で以下の不具合が  
あった。

駿河台倉庫の発電機が起動しない。8/2に吉橋相談役、青木管財担当で確認の結果  
報告の通り不良と判断、修理に出す。

細沢台倉庫のチェンソーが切れない。同様に確認した結果、チェンソーオイルが全く入っていなかった。チェンソーオイルを注入後清掃し8/12倉庫に返却予定。

注) 現在「安否確認旗」の依頼は、各地区幹事から受けているが、幹事任せになって手配漏れが発生している。区民の会への入会手続きがあれば配布できるように、区民の会の野村総務担当と今後協議する予定。

(3) 函南町防災補助金事業の進捗報告

7月末までに、自主防災組織整備事業、並びに消防施設整備事業共に補助金交付決定を受理したので、(1)項の「防災マップ」以外8/初全て業者に発注した。

「各防災倉庫納入品」 8月25日頃

「安否確認旗」 8月17日頃

「消防施設関係」

「8地区防災倉庫の移設」 } 9月中旬 各々納品、工事完成の予定。

尚、「防災マップ」は、版下確認後発注の予定で、納期は現在未定(当方は11月の総合防災訓練までに納品を希望)

(4) 9/1(日)の「三島市・函南町総合防災訓練」の参加者について

ダイヤモンドからの参加者については、臨時区民の会役員会で、藤田会長より各地区1名以上(幹事又は班長、防災員の中から)参加するように依頼済。

尚、個人個人行くのではなく、出来るだけ車に分乗して行くよう指示した。

自主防災会本部委員からは、以下の通り、7/22臨時自主防災会議で決定している。

東中学校 藤田会長、長谷川情報担当

丹那小学校 小西給食担当、山上情報担当、酒井救護担当

(参考: 訓練会場及び内容)

①東中学校 集合時間 8:30(訓練開始9:00)

訓練内容 避難場所の開設・運営等の研修

集合場所 東中学校北側グラウンド

駐車場 柏谷公園南側駐車場

②丹那小学校 集合時間 9:00

訓練内容 応急危険度判定訓練(説明等)

陸上自衛隊救難ヘリの着陸誘導訓練

集合場所 丹那小学校体育館

駐車場 丹那小学校校舎北側駐車場

以上(1)～(4)の進捗状況の報告があった。

(5) 【メイン議題】「発災時の自主防災会本部委員の対応マニュアル」の検討

検討が非常に遅れている「自主防災会本部委員の災害発生時の対応マニュアルの作成」について、予定通り本年度中に検討を終えるため、以降鋭意検討努力する事を確認した。

現在までに「風水害時の本部立ち上げフロー」について、検討を終えており(添付資料②)、今回、「地震発生時の本部立ち上げフロー」について、青木管財担当が叩き台として作成した添付資料③を基に検討した。

① 行動を起こす基準として、函南町が採用している「震度5弱」を基準とする事とした。

「安否確認旗(黄色い旗)」の掲揚も「震度5強」を「震度5弱」とし、住民に周知し直す必要がある。

(安否確認旗に添付して配布するチラシは青木管財担当が改訂する)

② 発災時に委員が本部に集合が不可能な事があることを考慮し、マニュアルには〇〇担当と表記するが、不在時には他の委員が代行する事を基本とする。

その他検討の結果「(地震発生時の対応)災害対策フロー」は 添付資料③の通りとした。

次回、現場(各地区)からの情報収集・整理検討、災害対策本部の立上可否、町との情報交換等等について討議・検討を進める事とする。

話が多岐にわたったり、飛躍したりしがちなので、各自前もってメモ書きする等準備の上、会議がスムーズに進められるよう協力をお願いする。

以 上

次回予定

令和元年10月度自主防災会議

日 時	令和元年10月12日(土)
	PM14:00~16:00
場 所	管理センター東棟会議室
議 題	自主防災会本部 災害対応マニュアルの検討 その他報告事項 (開催案内送付時詳細連絡)

尚、近々「防災マップ」の版下完成時に、臨時防災会議を開催する予定。「防災マップ」の発注前最終確認になるので、各位是非出席願いたい。(別途メールで案内)

✕